

災害に備えて、信頼性の高い道づくり

■大規模な地震の発生時において、緊急輸送道路における橋梁の重大な損傷を防止し、1日以内の通行を確保することを目標に橋梁耐震対策を実施します。

緊急輸送道路の橋梁耐震対策の推進

平成23年（2011）年東北地方太平洋沖地震や新潟県中越沖地震（平成19年7月）が発生する中、「東南海・南海地震」はいつ発生してもおかしくないという認識が広まっています。

このため、大規模地震における被害を軽減するとともに、円滑かつ迅速な応急活動を確保するため、緊急輸送道路のうち、広域応援部隊等が移動するための県庁所在地間を結ぶ道路について、橋梁の重大な損傷を防止する対策を優先的に推進します。



新潟県中越地震により損傷した橋脚



兵庫県南部地震により損傷した橋脚

整備済み事例

国道11号 丸亀大橋（香川県丸亀市）

耐震対策が必要な橋梁について、落橋防止装置の設置や橋脚補強等を実施します。

